

平成26年度の原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）については、主要機関会議及び全体会議（鳥取県側）等を開催し、2県6市及び関係機関と調整を行っているところです。

今後、訓練内容の細部を調整し、訓練内容を決定します。

1 日程

平成26年10月18日(土) 2県6市の主催により実施（共同訓練）

2 今年度の訓練で検証すべき主な課題

避難時間の短縮に伴う、避難の引き続きの実効性の確保

→ 避難計画の深化と体制の整備（避難時間の短縮への対応）

- ・より実態に即したスクリーニング等の実施（避難住民への総合支援）
- ・障がい者施設入居者等の避難
- ・多様な避難手段の検証（JR・航空機・船舶等）
- ・わかりやすい住民等への広報
- ・避難者の緊急輸送

3 本年度訓練の特徴 →実践的訓練の追及

昨年度の課題を含めて段階的に検証する。

- ・避難計画に定めている会場でのスクリーニングの実施（計画上の最大限での実施）
- ・島根県の住民避難の支援（県外へ避難する途中でのスクリーニングの協力）
- ・住民への避難支援（支援ポイントをスクリーニング会場に併設して設置・・・情報、救護等）

4 鳥取県の主要訓練内容項目（案）

※住民避難訓練部分に重点を置く。

訓練項目	内容
本部等運営訓練 （初動対応訓練）	鳥取県災害対策本部等運営、2県6市の首長によるTV会議、関係機関との通信連絡訓練
オフサイトセンター訓練	統轄監及びオフサイトセンター要員の派遣、原子力災害合同対策協議会への参加
住民避難訓練 （※約300名の住民が参加予定）	米子市・境港市住民の参加により、一時集結所からバス・JR・船舶・航空機等多様な避難手段により避難させ、名和総合運動公園（大山町）でスクリーニングを実施 ※JRの直通運転（境港駅～御来屋駅）、ヘリコプター、C-1輸送機、海上自衛隊・海上保安庁艦船等
避難行動要支援者避難訓練	（新）障がい者、入院患者、（新）在宅の避難行動要支援者、聴覚障がい者及び外国人等の避難 （新）障がい者施設の避難計画の検証 ※年度内に対象施設の避難計画策定を完了予定
緊急被ばく医療活動訓練	避難住民へのスクリーニング及び簡易除染手順の確認、スクリーニング動員者の実態に即した指導方法の手順確認、安定ヨウ素剤予防投与、初期被ばく医療訓練
緊急時モニタリング訓練	（新）可搬型モニタリングポストを活用したモニタリングの実施 （新）緊急時モニタリング計画に基づく監視・測定・報告の実施 モニタリング本部の設置、モニタリング車等による測定等
県営広域避難所開設訓練	広域避難所（居住スペース）の設営及び計画動員数による開設所要時間の確認 ※（新）協定に基づく段ボールの調達及び搬入
広報・情報伝達訓練	あんしんトリピーメールや道路情報表示板等を使用した広報、報道機関との連絡調整、要配慮者や一時滞在者への広報・情報伝達相談窓口の設置、外国人観光客への広報
学校の避難訓練	学校等との通信連絡、屋内退避等 ※当日、国立米子高専が通信連絡訓練を行うとともに、県立学校等は平日に実施予定
避難誘導、交通規制等訓練	県警による避難誘導、広報・情報伝達、県警ヘリによる映像伝送、渋滞解消のための誘導等
（新）避難支援ポイント設置・運営訓練	（新）避難住民に対する支援を行うための内容（情報提供、本部との連携）の検証、避難支援ポイント内の指揮命令・協同及び連携の検証 （新）車両のスクリーニング及び除染
原子力防災研修等	訓練参加住民の方に対して放射線の基礎知識、防護措置の研修・展示等を実施

5 今後のスケジュール

9月下旬に訓練内容決定（原子力防災訓練第3回主要機関会議）